

臨床研究

『CT ガイド下ラジオ波凝固療法における吸引式バッグを用いた患者体位保持精度向上に関する検討』

ご協力をお願い

都島放射線科クリニックでは

『CT ガイド下ラジオ波凝固療法における吸引式バッグを用いた患者体位保持精度向上に関する検討』

とした研究を実施しております。対象となる患者さんは都島放射線科クリニックで肺がんおよび肝がんに対してラジオ波凝固療法を受けた方です。

*この研究内容は医療法人新明会倫理審査委員会で審議を受け、承認されたものです。

1. 本研究の目的

肺および肝がんに対するラジオ波凝固療法は、近年の高精度化に伴い、安全性・有用性が数多く報告されています。しかしながら、治療現場ではさまざまな問題が起こるため、臨機応変に対応することが求められています。さまざまな問題の一つに患者さんの治療中の体動があります。これは手技における穿刺や焼灼によって痛みなどが生じた場合などに動くことがしばしば見られます。安全に治療を施行するためには、こうした動きへの対応を行う必要がありますが、現在のところ確立された手法は存在しません。当院は2015年より肺および肝がんに対するラジオ波凝固療法を行っております。今回、当院で施行しているラジオ波凝固療法において、これまで以上に安全な治療を行っていくうえで、患者さんの治療中の動きを評価する必要があります。このような背景のもと本検討では患者さんの治療中のデータを使用した検討を行います。

2. 取り扱うデータについて

ラジオ波凝固療法時に撮影されたCT画像、その他の臨床情報などを用います。

3. 個人情報の保護の方法について

データ収集・管理にあたっては、患者さんのプライバシーに十分配慮し、個人を特定できるデータは外部に公表・流出させないように細心の注意を払います。個人識別情報を含む資料等は、氏名や住所などの個人情報を省いて、コンピュータの外部記憶装置に厳重に保管します。

4. 本研究に参加することの利益や不利益

本研究にご提供いただいたデータは患者さん個人に特に利益になると考えられることはありません。診療で得られたデータ収集のみであるため、患者さん個人に不利益はありません。

5. 研究終了後のデータの取り扱いについて

本研究に使用したデータにつきましては、個人情報を含まないデータのみ保存し、個人情報を含む資料やデータを破棄する場合には個人情報の流出防止に努めます。

6. 研究成果の報告について

研究成果が学会発表や論文掲載などの形で報告されることがあります。いずれの場合でも、患者さんのプライバシーを守るため、患者さんの個人情報が第三者に漏れないように慎重に配慮いたします。

7. 研究参加の取りやめについて

止めなくなった時はいつでも中止できますから、下記にご連絡ください。参加の取りやめの希望を受けた場合、それ以降は当該患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、参加を取りやめられたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように結果を破棄できない場合がございます。

8. 連絡先

本臨床研究に関することをご不明な点などがありましたら、下記にご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉都島放射線科クリニック

大阪市都島区都島本通1-16-22

研究実施責任者： 上本 賢司

電話 06-6923-3501

平日午前 9:00～ 12:00 午後 13:00～ 17:00